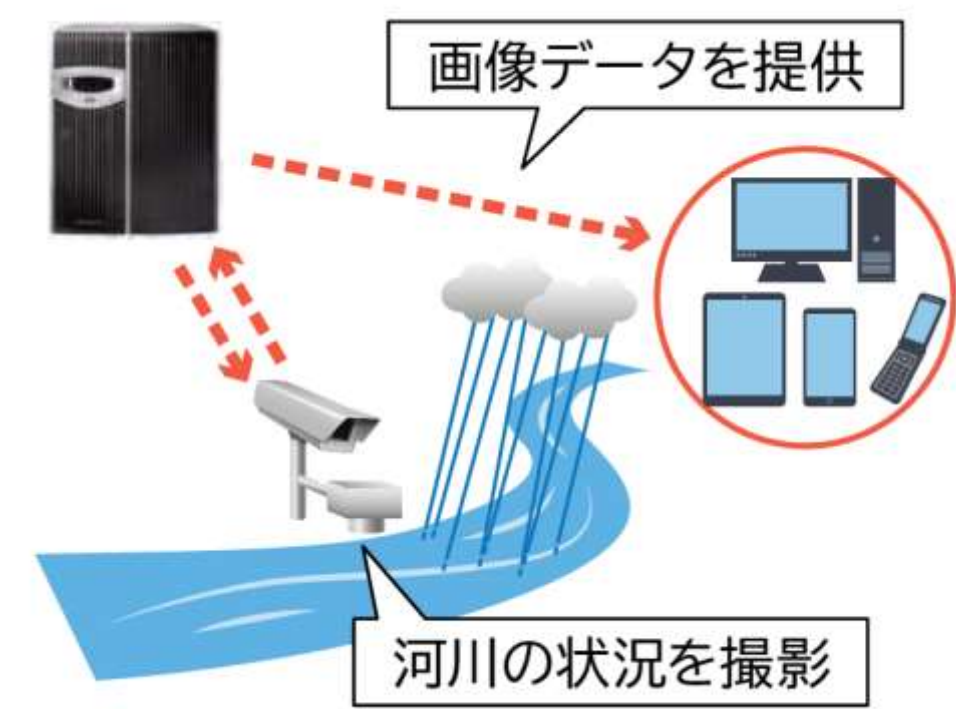


防災情報の発信充実

NAKSS 配信の充実

流域治水に係る取組みのひとつとして、住民への災害リスク情報の発信の充実があります。
県では、従来より長崎県河川砂防情報システム（NAKSS（ナックス））によるWeb上において、県内の雨量情報、河川水位情報の発信を行ってきました。
近年、さらなる情報発信の充実化を図っており、令和3年には県が管理する河川の29カ所に河川監視用カメラを設置しました。従来の河川水位情報に加え、画像情報も提供できるようになっており、適切な避難につなげています。



（監視画像配信イメージ）

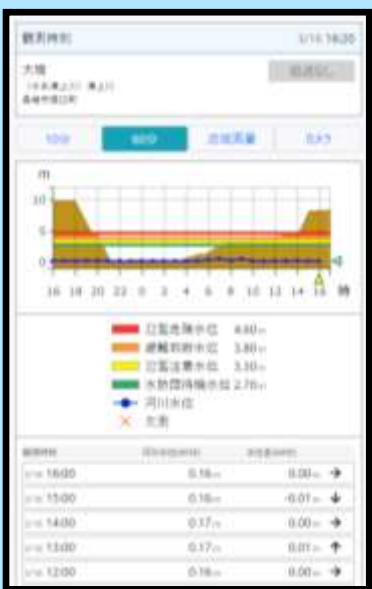
令和4年3月には、従来のパソコン版に加えて、新たにスマートフォン版の閲覧サイトを公開しました。
避難行動を検討するような場面における防災情報の視認性を高めました。



スマートフォン版
イメージ



地図選択画面



河川水位画面



河川監視カメラ画面



スマートフォン版
QRコード